



特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会

# 里山だより

2009年1月

新年号 30号



NHK全国版「難問解決 ご近所の底力」取材風景（2008年12月放送）

## 特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会

〒518-0762 三重県名張市上三谷268番地の1

TEL 0595-64-0051

fax 0595-63-4314

ホームページ：<http://akame-satoyama.org/>



※ホームページを開いてメルマガの読者として登録してください。  
情報があなたのメールに届きます。

# 【青年里山フォーラム2009IN赤目の森開催】

「集い語らいワークする次世代を担う私たち」 2009年3月20日—22日



赤目の森が国際ワークキャンプナイスの「名張ワークキャンプ」を受け入れてから今年で丁度10年になります。このキャンプですでに延べ200名以上の青年達が社会に大きく巣立っていきました。

この度、このキャンプを1年生の時に体験し4年間赤目で育った学生達を中心になって、「全国の里山に関心のある青年達と一緒に集い、語らい、ワークしたい」との思いから、表題のようなフォーラムを開催することになりました。

内容は、エコリゾート赤目の森を中心会場として、参加者規模80名で、基調講演、団体紹介、交流会、講座研修、里山保全作業などを取り組もうと考えられています。すでに、同実行委員会は東京で数回会議が開催されて、実行に向けて着々と準備が整っています。

同委員会のインターネットホームページは

<http://akame-satoyama.org/youth/> です。

なお 19日は、前夜祭 22日午後と23日に渡ってエクスカージョンが実施されます。

参加の申し込みは、2009年1月10日から行っています。

お問い合わせは、下記の通りとなっています。

特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会内 青年里山フォーラム 2009 in 赤目の森 事務局

〒518-0762 三重県名張市上三谷268-1 電話 0595-64-0051 FAX 0595-63-4314

E-Mail youth@akame-satoyama.org

同実行委員会では、全国の里山に関心のある青年達に呼びかけて、このフォーラムを成功させたいと考えています。ぜひ、赤目の里山を育てる会の会員のみなさんや里山に関心のある人たちの周辺で頑張っている青年達に、このような取り組みがあることを届けていただきたいと思います。

## 全国の里山に関心のある青年達よ、

## 赤目の森に集ってみようじゃないか

### 【 恒例の味噌作りのご案内 】

予告です

2009年2月15日 日曜日 10時から15時まで 名張市上三谷 エコリゾート赤目の森で開催

- 内容 大豆味噌 6キロ 3500円 1単位  
麦味噌 6キロ 3300円 1単位
- 持ち物 お弁当 水筒 エプロン お味噌を入れるタッパー付きの容器
- お申し込み 事務局 0595—64—0051 お申し込みは 2月8日まで

★全国発送もしています。年代物のお味噌 5年熟成などもあります。お値段 送料など 別途



どなたでも作れます。本当の「手前味噌」の豊かさを実感してください。

## 【ミツバチの巣箱の状況について そのV】

前号で4箱の巣箱に生活していると、報告をさせていただきましたが、この冬は残念ながら1箱しか巣箱の中で生活していません。原因は、管理する私達に原因があります。それは、スズメバチの巣箱の食いちぎり侵入を阻止できなかったからです。日本ミツバチの外界への出入り口は7ミリの隙間が行っていますが、スズメバチはその隙間を食いちぎり隙間を広げて巣箱の中に進入して、たっぷり蓄えられた「蜂蜜」を横取りしようとします。「蜂団子」で応戦して、そのような巣箱は、沢山のその残骸を目にすることができますが、嫌気がさして、巣を離れてしまうのです。でも、また春になれば必ず戻ってきます。今年は頑張ります。



2009年 赤目の里山を育てる会 創設14年目に入ります。

# 謹賀新年 今年もどうぞ、よろしく願いいたします。

### 赤目の里山を育てる会の今年の大きな仕事

- ・ 超小型ペレタイザーの有効活用のために、行政 地域 企業と一緒に頑張って頑張ります。  
年賀状の「カーボンニュートラル」の寄付金を使って事業を考えています。
- ・ 里山ガイドブックを作って10年ですね。改定版を作ろうと助成申請しています。  
里地モニタリングの基礎調査の結果を一冊の本で出版する予定です。
- ・ ナショナル・トラスト活動をみんなの運動にして取り組みたいです。  
トラスト地でのコンサート活動に力を入れて行きたいですね。
- ・ 10年となる赤目小学校との「里山授業」をまとめる作業をしたいです。  
4年生の子ども達が既に500人以上赤目の里山で育ち 卒業していきました。

特定非営利活動法人 赤目の里山を育てる会 理事長 伊井野 雄二 ご挨拶

皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。昨年12月1日でNPO 法施行10周年また同日新公益法人制度が施行されました。

新しい時代の要請で、社会の公益を担う主人公が、国家から民間・市民の側にもたらされた画期的なこの時期に、益々NPO に対して期待が寄せられ、信頼が求められています。

赤目の里山でのこの13年間の取り組みを今一度精査して、地域の期待に沿うためには、何をどのようなにしないといけないかを検証してみたいと思っています。昨年12月に行われた講演の中で、日本 NPO センター代表理事の山岡義典さんは、NPO 法10周年に際して、「社会の隅々の問題を NPO がどれくらい解決しただろうか。多くの課題は山済みされている。テレビや新聞で見聞きする社会的な問題の多さを真に自分達の課題として位置づけ、自覚ある市民が志を高く持って新しい市民社会を形成していかなければならない」と言われました。NPO が直面する社会的な課題に真正面から向き合い、真摯に取り組むことこそ自覚ある市民の行動だと、背筋が冷たくなるような緊張を覚えました。「初心の善意」に再び大きな炎を燃やして、頑張っていきたいと考えています。 本年もどうかよろしく願いいたします。





# 赤目の里山を育てる会活動報告

## 2008年9月～12月

みなさん、お元気ですか？2008年後半も赤目の森では面白いことが沢山ありました。

一番賑わった話題は、NHK全国版「難問解決 ご近所の底力」で赤目の森が取り上げられ、現地取材と理事長の伊井野雄二さんが東京のNHKスタジオ入りで収録されたことです。

地道に里山保全活動を行ってきた中で、間伐材の枝や柴を木質バイオマスエネルギーに変え、ペレットストーブの燃料として使われ、それがCO2削減となり地球規模での環境保全の取組みといえるかもしれません。そんな、里山にも若い青年たちが集い、自分たちがどのように担っていくのかという論議も熱く語られる2009年の春（青年里山フォーラム）が待ち遠しくてたまりません。

赤目の森もどんどん進化しています。里山で超小型ペレタイザーによる新しい燃料ペレット作り、石窯やペレットコンロで野外料理、里地のモニタリング活動など、こんな時代だからこそ赤目の森と一緒に汗流しませんか？

- 9月 ・国際ワークキャンプ開催
    - ・三重県里地里山保全事業「二胡コンサートと各国の青年達との自然を楽しむ集い」
    - ・2008年度名張市市民活動公益実践事業
- 「これからのまちづくりに必要な公益活動と新公益法人制度を学ぶ」2回目



・国際ワークキャンプのキャンパーで里道の草刈



・里山での長弓の会の二胡演奏

- 10月 ・全国雑木林会議（飯能市）



第16回全国雑木林会議全国大会in飯能大会に、超小型ペレタイザーを出張稼働させました。多くの方々が大きな関心を寄せて下さいました。ペレットコンロの「キリン君」ペレットストーブの「ラクダ君」も大人気でした。

（駿河台大学構内）10月18・19日

● 11月 ・2008年度名張市市民活動公益実践事業

「これからのまちづくりに必要な公益活動と新公益法人制度を学ぶ」3回目  
 ・NHK取材 赤目の森にて



・名張市「ふれあい」にて講座を開講



NHK取材に名張市在住の景山さんご家族とお友達、ワークキャンプの青年、地元の会員さんにご協力頂きました。この日も間伐と柴刈で林床が見違える程綺麗になりました。



ご近所の底力  
 和田アッコさんと松本アナと一緒にです。  
 11月22日  
 渋谷NHK放送センタースタジオです。

● 12月

・12月1日 東京 飯田橋NPO法10周年記念イベント  
 「どうなる NPO 法制度の未来 法人・税制度の変革期を越えて!!」

日本NPOセンター代表理事 山岡義典さん、シーズ 事務局長 松原明さんによるNPO法10周年の意義・役割を聞く。  
 新公益法人制度 施行の記念日に東京にNPO関係者が集い、伊井野理事長も参加。





## デイサービス赤目の森の様子

デイサービスのご利用頂いている利用者の方も、一日10名定員中、平均8～9名と定着してきました。

旬の素材を生かした毎日のお食事と里山の景色が、利用者の皆様にとって元気の源になっているのではないかと考えています。

さて、デイサービスの利用者の皆様と秋の日帰り旅行に行っていました。

桑名の「七里の渡」から船に乗って、木曾三川公園を船から眺め、暫し蛤の漁師さんになった気分を楽しみました。昔、熱田・宮の渡しから海上七里を船に乗り、桑名の渡しに着いたことから「七里の渡」と呼ばれています。当時は、東海道の42番目の宿場町として大賑わいを見せていました。ここにある大鳥居は、これより伊勢路に入ることから「伊勢国一の鳥居」と称され、伊勢神宮の遷宮ごとに建て替えられているそうです。そのあと、桑名の料亭で蛤料理で舌鼓をうち、楽しくお食事をして帰ってきました。日頃、デイサービスでは味わえない景色や空気を吸ってリフレッシュして参りました。



蛤の漁師さんになった気分・・・。



香落谷へ紅葉を見にいきました！  
見事な鎧岩ですね。



# 活動近況報告 (石窯利用グループと里地里山モニタリング調査について)

理事 坂上 優子

今年も早や残り僅か、来年がすぐそこまで来ています。この頃は 11 月に比べ暖かい、お天気の良い日が多いです。11 月は朝夕との寒暖の差のせいか、寒い日が多かったからか里山の紅葉がとても美しくかったです。

石窯活動も毎月第 4 水曜日に定着し、平原さんと私は雨が降ろうと槍が降ろうと？必ず来てピザや天然酵母パンを焼いたりお芋やカボチャ、美味しくなりそうなものは何でも窯に入れて実験中。好奇心の塊のような二人です。平原さんは窯の為に使い勝手の良い、いろんな道具を作ったりもしてくれます。お天気も今のところ好天に恵まれています。そこに友人・知人が時々参加してくれます。その様な中で



(平原さん がんばってる)

この秋頃から強い味方の木原邦子さん(私の天然酵母パン作りのお師匠様です。)が加わってくださり、この頃はピザやパンの腕が上達してきている私達石窯メンバーです。食べる事意外では、パンが焼き上がる間、落ち葉かきをしたり焚き木集めに散策も兼ねて、山の中を歩いたりもしています。



(石窯で焼いたとは思えないパン)

また、10月から里地里山モニタリング 1000 の予備調査を今西塩一先生、芝田さん、伊井野さんと月 1 回開始し、来年 4 月からの本調査に向けて着々と準備を進めています。植物調査はルートを決め、10 種の区間に分けて図鑑片手にその季節の植生調査をしています。今の時期は植物も外来種も少なめなので皆随分植物の名前などを覚え始めています。春から夏の植生を思うとこのペースはどうなるのだろうかと思ひながら……。水環境の調査もする為、そのルートを決め、湧水点と赤目の森の最下流点とその中間点の 3 箇所を調査点に決めました。湧水点を山奥の谷合で見つけたときはちょっと感動的で、清水がさらさらと流れていました。しかし、その湧水点まで辿り着くには覆い被さっている 2 メートル以上の笹藪になっている里道と湧水地点付近で切りっ放しになっていた丸木を整備する必要性がありました。11 月 7 日、12 月 9 日、12 月 16 日と 3 回各 2~3 時間ずつチェーンソーや草刈機、鋸、鉋、剪定鋏などで整備し、やっと開通復活しました。本調査の時にはたくさんの方々に参加していただき、赤目の里山の現状やこれからを見守り育てていただければありがたいなと思っております。勿論予備調査からのご参加も大歓迎です。

(来年早々の調査は 2009 年 1 月 20 日午前 9 時開始です。ご参加の方は事務局まで、ご連絡ください)



## 只今！学生会員活躍中！

赤目の里山を育てる会のホームページ更新は、佐野憲一朗さんがバッチリサポート！

是非、ホームページ検索してくださいね。最新情報、満載で～す！<http://akame-satoyama.org/>

2009 年 3 月には、「青年里山フォーラム 2009 in 赤目の森」を開催いたします。

実行委員長は岡田健一さん、事務局長に喜多川権士さんです。

詳しい内容につきましては、ホームページが更新されていきますので、時々、開いて見てください。今後の青年の活躍に乞うご期待！

あなたも赤目の森でキラキラ活躍してみませんか？

ボランティア募集中！事務局までご連絡ください。



## 【ペレット生産工場の整備進む 小屋が新設されました】

超小型ペレタイザーの設置してある場所は、デイサービスの送迎用のスペースの端となっていました。ところが、生産が増えてくると材料の置き場所が狭くなっていました。そこで、里地里地山の認定団体への助成金を利用して、小屋を新設することにしました。

今年9月に始まった国際ワークキャンプの「夏キャンプ」に大きな課題として、青年達に課したのですが、。

当初は「手も足もでない」という感じでしたが、少し助言をすると、生き生き働き出して、工事が進むようになりました。柱が何本か立ってくると、これから作ろうとするものの輪郭が見えてくると俄然頑張ります。使ったことがない、ノミやシノ(これなんだか分かりますか)を使って、穴を掘ったり柱を締め付けたりして、なかなかの素人大工さんになりました。

できた小屋というか、大屋根は写真の通りに立派な物置小屋となりました。近いうちに、ここに棚や壁を整備して、多くの木材の乾燥所としての役割も担ってもらおうと考えています。

あの時頑張った仲間のみなさん。そういえば、北海道から研修にこられた中札内みのり園の宮内施設長もお出でになりましたね。その節は大変お世話になりました。立派に床も張れて、快適に使えています。



### 【赤目の里山を育てる会のメルマガの読者になってください】 現在 271名様

赤目の里山を育てる会のホームページ <http://akame-satoyama.org> このページで、メールマガジンを発行しております。読者登録をしていただけますと、無料で毎月、赤目の里山を育てる会 エコリゾート赤目の森の情報を受け取ることができます。ぜひ ご登録をお願いいたします。

月々の思いや赤目の里山の情報などリアルタイムで、お知りになることができます。登録は簡単です。どうぞ、よろしく願いいたします。

#### \* 編集後記 \*

「里山ひろば」が年賀状代わりに発送できるのは何年ぶりでしょうか。赤目の里山を育てる会やデイサービス赤目の森の業務や仲間のみなさんの日々の生活が順調だからこそできたことかもしれません。赤目の里山を育てる会や NPO にとって一番大切な会員や支援者のみなさんに対しての情報発信がいつでもコンスタントにできなければならないのに、いつもルーズにしています。みなさんに「甘えている」ということなんだと反省していますが、。今年は、定期的に発行するようにネジを巻いて頑張りたいと想います。学生さんに編集の一部を任せたいと想っています、。ということかな。 イ

#### 赤目の里山を育てる会の現状

(2008年12月23日現在)

個人会員 100名

賛助会員 5団体個人

みどりの募金累計金額 407万円

#### 新入会者

個人会員 さん (京都府)

個人会員 さん (中野区)

個人会員 さん (船橋市)